2025 年度活動報告書

【相談業務】

・事務局兼アトリエ、及び、かながわ県民センターにて、電話・メール・オンライン・来所での相談業務を 240 日間実施。

・その他、公的機関が休みとなる週末緊急宿泊、各関係機関への同行支援の実施。

【居場所事業】

・被害の事を話すことがまだ難しいが、一人で居るのが不安だという相談者の方でも利用できるスペースとして、当団体のアトリエでものつくりを通して、利用回数の制限のない「居場所」を提供する事で、中長期支援へと繋ぐ事ができた。また、ものつくりの活動に参加できるようになった当事者さん達と、少人数での「お茶会」を不定期ではあるものの、年に 4 回、開催する事ができた。こうした小さな事の積み重ねによって、各々のペースで、被害の事を話す時間も出てくるようになった。

・来所にて相談頂いた相談者さんの中で、経済的に困窮しておられる方に対して、女性用品、日用品、食料品の無料配布の実施も出来た。

【地域、公的機関との繋がりの強化】

・7 月にひらつか市民活動センターで開催された「わくわくフェスタ」で、「手ごね石鹸」のワークショップへの出展参加ができた。来訪者数は約 39 名（親子含む）

・10 月には二宮にあるリサイクルショップ「We ジャパンにのみや」の貧困をなくそうキャンペーンにて、パネル展示の他、当団体の作品を展示販売して頂けた。

・11 月に平塚市で開催された「女性に対する暴力をなくす運動」の期間中、平塚中央図書館にて、当団体の活動の様子のパネル展及び、作品の展示もさせて頂くことができた。展示に於いては、中央図書館、平塚市民人権・男女共同参画課の職員さん達の惜しみないご協力を賜ることができた。

・12 月、平塚市民人権・男女共同参画課の登録団体になることができた。